

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会 長 中武泰一郎
 副会長 函 師 義 孝
 幹 事 藤 本 範 行
 例会日 毎週木曜日 12:30~
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1741 回 平成 24 年 6 月 7 日プログラム

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング | 8. BOX披露 |
| 国家、奉仕の理想 | 9. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 長峯 基

中部分区ガバナー補佐 林 務

2730 地区テーマ

とにかく「善いことをしよう。」

高鍋ロータリークラブテーマ

原点をみつめ「団結」「創造」「挑戦」

6月の月間テーマ

ロータリー親睦活動月間

本日の例会案内

*米山ランチ

*月初めのセレモニー (誕生祝1名、結婚祝3名)

*内部卓話—宮元武次君「これからの電力供給・節電」

次週例会案内; 6月14日 (1742回)

*血圧測定

*クラブ協議会一年間活動報告

第 1740 回 例会内容

■会長の時間

会長 中武泰一郎君

俳句の季語には、今やまったく見られない行事や習慣も多い。言葉だけでも受け継がれていってほしいものです。そんな中に「振舞水」があります。夏日市井(しせい)の間にかめをわたして、これに柄杓(ひしゃく)及び茶碗を添えて、往還(おうかん)炎暑に苦しむ人をしてこれを飲ましむ「砂糖水ただふるまう江戸の町」(一茶)。



「霍乱(かくらん)」「暑気あたり」は今でいう熱中症らしい。炎天下の路上で働く人には、水分補給は命取り。振舞水が大いに役立った。

今年も、まだ5月というのに真夏日も多く観測されています。真夏でなくても、急に温度が上昇したり、湿度が高い時は、熱中症に要注意。昨年、熱中症で病院に運ばれた症例の4割は室内で発生している。

今年も節電の夏が来ますが、各家庭での工夫とともに家族や近隣への目配りや心遣いも大切にしたいものです。ご先祖のような思いやりで。

大相撲5月場所は、旭天鵬の初優勝で幕を閉じましたが、貴乃花部屋から初の関取が誕生しました。

大相撲5月場所は、旭天鵬の初優勝で幕を閉じましたが、貴乃花部屋から初の関取が誕生しました。

十両になりますと、月給が103万6000円。賞与が年間給与の2ヶ月分。出張手当も支給されます。年3回の地方場所の際に支給される。宿泊費が5300円。日当が1200円。35日分支給。

髪結いの補助金が、25000円(東京での年3回)部屋を維持していく為の経費も補助される。

養成員養成費(幕下以下の力士)1人当たり7万円。

稽古場経費(力士1人当たり)5万5000円。

稽古場補助金 30万円

部屋維持費(力士1人当たり)11万5000円。

幕下 本場所手当 15万円

三段目 本場所手当 10万円

序二段 本場所手当 8万円

序ノ口 本場所手当 7万円

■幹事報告

幹事 藤本範行君

<文書案内>

*次年度拡大・増強部門から

活動方針・計画提出依頼

*宮崎南RC例会場変更の件

6/11より宮崎観光ホテルへ

*西都RC6月の例会案内

6/5・6/12クラブフォーラム

6/19まがたま賞授与式 6/26夜間例会

*佐土原RC6月例会案内 6/6次年度計画発表

6/13R情報集会 6/20退任挨拶 6/27夜間例会



◆出席報告

出席リーダー 福本幸良君

出席状況

会 員 数	47 名
出席 会員 数	39 名
ホーム出席率	84.78%
前々回修正出席率	89.13%



◆BOX披露

親睦活動委員 木浦亨英君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

図師義孝君 次年度の委員長さん代理で出席して頂いた方地区協議会への参加ありがとうございました。あと1ヶ月となりました。よろしくお願い致します。



鍋倉春代君 情報研究会の曜日を間違えていました。欠席のお詫び。すみませんでした。

2012-2013 年度のための地区協議会報告

○クラブ会長部門

図師義孝君

次年度のための勉強会、地区協議会へ26日早朝6時に出発で行って来ました。委員長さん、代理出席の方々13名の皆さん出席して頂きありがとうございました。

全体会議後、移動しての部門会議出席です。RI戦略計画委員の南園儀一氏のお話で、「クラブ活性化のためにはクラブ会長の理解と熱意が全てを左右すると言っても過言ではありません」と熱っぽく話され、ロータリーのリーダーシップは横のリーダーシップが大事など、戦略計画とロータリー活動についての研修でした。



次年度会長 図師君



次年度幹事 山口君

○幹事・会計・事務局部門

山口順一君

ポリオワクチンによる撲滅、奉仕プロジェクト人道的支援に職業を中心にボランティア活動を心がけ、地域に根付いたクラブ貢献し、普段でもロータリーバッジを付け、ロータリーロゴを使用して、ロータリアン以外の人にも情報発信し、ロータリーの理解深めてをモットーに心を打つ行動でなければ成らない。

幹事要覧を十分に読んで、クラブ幹事の責務を果たし、会長にどの様な協力が出来るか密に方針を聞いて立案し、会計との連結、クラブの委員会とコミュニケーションをはかりクラブ運営に当たりましょう。

○拡大・会員増強維持部門

井上博功君

今年の地区協議会は昨年と比べてムードが変わったような気がします。昨年の長峰年度は運営管理を重視した会員増強拡大メインで、今年の山下年度は職業奉仕をメインに打ち出したようなイメージです。

部門別では平山委員長と2名で参加させていただきました。各クラブから女性会員の入会実績と人数の報告がありかなり女性会員が増えているようです。が、鹿児島ロータリークラブは女性会員は0人だそうです。

女性会員を増やそうと言うムードがないのではないかと思います。あるクラブは、女性会員が多くなったのでこれ以上は増やしませんと言っておられました。女性会員は多すぎてもいけないのではないかと思います。

私は、所用で途中退席いたしました。



次年度会員増強委員長 井上君



同副委員長 平山君

○拡大・会員増強維持部門

平山英俊君

久しぶりに地区協議会に出席しましたが、運営について一言。

- (一) 全体会議が午前、午後と長すぎ、部門別会議が時間不足。
- (二) 食事を全体会議のその場でとることになり、座席が狭くて、窮屈(劇場スタイル)。
- (三) 部門別会議が2階傍聴席で急傾斜、危険それに他部門の声が輻輳して聞き取りにくい。

長峯ガバナー、高木会員増強委員長(串間) 佐々木女性会員委員長(都城)の指導で開始。

- (一) 「女性好き好き会員ふやせ」のガバナーの調子で時間の大半が女性会員の誘導と女性委員会の活動内容に終始。
- (二) 年度内に会員を積極的に増加させたクラブの事例発表等をする人もなく、何かポイントがずれた、期待はずれの分科会となった。
- (三) 年金生活者には会費を1/2にして、勧誘したらどうかの意見があったが、そこまでして会員増強の必要性があるのか。

最後にお話忘れたことを!

明倫観光バスの橋口ドライバーご苦勞様でした。前夜は熟睡して安全運転を心掛けたという気持ちに感謝。それから、帰路のドライブイン「加治木まんじゅう店」に寄って戴き、アツアツのまんじゅうにありつけたことにも感謝。

○公共イメージ部門(広報雑誌IT)

木浦亨英君

午前中の全体会議後、午後から公共イメージ部門の分科会に参加しました。

次年度委員長より次年度に向けた【公共イメージ部門】の活動方針が提示され、従来の広報雑誌 I T 小委員会の活動をさらに積極的に行い、ロータリー・ロータリアン・ロータリーのプログラムなどを広く一般の方にも理解してもらう活動を行う。また、ロータリーの友地区委員や月信委員長とも連携し、ロータリーの発信する情報の一元化を行うと同時に広報活動を活発化する。

公共イメージ部門には①公共イメージ小委員会②広報 I T 小委員会③ロータリー雑誌小委員会の3つの委員会を設け活動する。以上が次年度の活動方針の内容です。



広報雑誌 I T 委員長の木浦君



ロータリー情報の尾崎君

○クラブ管理部門 (R 研修)

尾崎敏弘君

地区研修委員会の田中晴敏委員長から次のとおり説明があった。

R I から「会員のロータリー理解推進のための研修委員会として位置付ける委員会」の設置を推奨されている。地区はこれを D L P で受け、クラブ研修リーダーの任命、新入会員のオリエンテーションと会員研修の場を設け研修を円滑に進められるようにした。そのための研修資料の準備や講演者の手配などを支援する。

クラブに対しては

- a, クラブ研修リーダーの選任
- b, クラブ会員に対する研修の場の提供
- c, クラブ細則を実態に即したものにすることを提唱された。

○クラブ管理部門 (親睦)

橋口清和君

フェローシップ小委員会 委員長 岩切正司

●基本方針

- 1、本来のフェローシップの意味、感情親睦と純粋親睦の違いを正しくロータリアンに伝える。
純粋親睦と感情親睦：一般的に親睦といえば、ゴルフをしたり、お酒を飲んだり気心が通じ合う感情の上での親睦が一般的にいう感情親睦である。
感情親睦を深めながら、同僚会員の言葉に耳を傾け、何かを学び取る自己研鑽の意識が働いたものが入ってくる親睦がロータリーでいう親睦 (フェローシップ) である。だからこそ、自然発生的に、自分で気づかぬうちに、繰り返すうちに、段々と磨かれていく。それがロータリーでいう親睦である。
- 2、フェローシップの勉強会を地区で開催する。
日時、場所など詳細は後日連絡する。

○奉仕プロジェクト部門 (社会奉仕) 福岡直樹君

全大会が終わった後、自治会館に移動して、部門別会議が行われましたが、一つ会場に四つの委員会の会議があり、ほとんど聞き取れない現状でした。前半はいつもの事ですが、ロータリーの歴史を勉強し、後半はそれぞれの活動の報告がありました。全体としては、昨年までは地球温暖化や環境に関する話が多かったですが、今年は、自殺対策や児童虐待など人に関する話でした。地区委員長が変わると色々特色を出してくるのだと思いました。一番印象に残った話は、奉仕プロジェクト委員長の古木さんの話で「アメリカは年会費が 280~300 ドル 2~3 万と安く、寄付社会で、裕福な人がいっぱい寄付をする。日本は寄付社会ではなく、一律平等みたいな精神があるので、会費の中で運営を行う。そのため高い会費になっているのではないか」という話でした。



社会奉仕委員長の福岡君



職業奉仕副委員長の岩村君

○奉仕プロジェクト部門 (職業奉仕) 岩村文夫君

委員長 中村良一氏 カウンセラー 海江田順三郎氏
基本方針は、①ロータリーの綱領、四つのテストに職業奉仕の精神が生きています。②職業を通して事故研鑽、職業倫理を高める。③職業宣言を熟読しよう。活動計画は、10月の職業奉仕月間に委員長卓話を行う。②地区大会に於職業奉仕に関する卓話も積極的に行う。
※CLPと職業奉仕との関係

○奉仕プロジェクト部門 (国際奉仕) 中武泰一郎君

5月26日に鹿児島で開かれた地区協議会に参加いたしました。

部門別協議会には、担当の委員長・アドバイザーのバスター会長のいずれも欠席されました。資料も配布されず、次年度の活動方針すら知ることが出来ませんでした。又、4つの奉仕部門の協議会が同じ会場で行われ、話しの内容を聞き取る事が出来ませんでした。

今後、協議会の運営や会場等について、地区に一段の再考を促したいと思います。



国際奉仕委員長の中武君



クラブ管理運営委員長の石田君

○奉仕プロジェクト部門 (新世代RAC) 石田喜克君

5月26日(土)の早朝に高鍋を出発し鹿児島市民文化ホールに到着後すぐに地区協議会の本会議に臨みました。

最前列から3番目の席で、西都RCメンバーと並んで座り全体会議に参加しました。山下皓三ガバナーエレクトの運営方針説明等は、午前中とあってしっかりと理解できました。決して居眠りはしませんでした。

ガバナー事務所の固定化については、しっかりした運営方法が出来れば情報の共有化、コスト削減ができそうな気がいたしました。

ホール内での昼食(弁当)にはびっくりし、会場の設定があまりにも雑すぎると思いました。

90分間のパネルディスカッションは、大変勉強になりました。3名の方々の真のロータリアン活動を聞き、少しでも近づけるよう頑張らなくてはいけないと反省しました。

その後11の部門に分かれて部門別会議が開催されました。私は、第9部門に代理出席しましたが、自治会館の4F会場が仕切りなしの4部門合同で、話が聞きづらかったのは、私だけだったのでしょうか？

再度、堺フェニックスRCの米田眞理子君が奉仕について熱弁をふるわれて、少々時間が不足しているような気がしました。秦パストガバナーがアドバイザーでおられたが、彼の話は聞けずにハンドルキーパーとして4時前に会場を後にして6時前に無事高鍋へ到着いたしました。

今回は、職業奉仕の部分がメインの様な気がしました。

今後、奉仕活動をめぐる論争が出来れば最高だなあ～議論ありき。今回は、部屋を変えてでも部門別に議論をさせて頂きたかった。そして、時間と場所の提供が必要だと思いました。

○ロータリー財団部門

黒木敏之君

財団委員会には8つの小委員会があります。当地区では4つの委員会にまとめられて活動します。補助金・ポリオプラス小委員会、GSE小委員会、年次寄付恒久基金小委員会、学友・奨学金・世界平和フェロシップ小委員会の4つです。

運営方針には4つの重点項目があります。

1. 各小委員会と連携し情報を共有する。
2. FVP(未来の夢計画)の準備に着手する。
3. 新地区補助金の周知
4. グローバル補助金の周知

次年度も財団へのご寄付をお願いします。



R財団委員長の黒木君



クラブ広報委員長の日高君

○米山記念奨学会部門

日高 茂君

米山委員会への代理出席を依頼された時、この委員会に興味があったので二つ返事でOKしました。

全体会議ではパネラーの話を含め、私にとって良い話が多々有りましたが分科会の時間が少なく消化不良の状態でした。

分科会では永田部門長、長嶺委員長さん等からの周知、説明と依頼でした。米山奨学については、先日まで汪南雁さんに対し当クラブがホストクラブを担当しておりましたのでご承知のとおり、学部生は月10万円、修士・博士課程は月14万円をホストクラブに出席して現金で授与すること、レポート提出が義務化されていることはご承知のとおりであります。

奨学生は、これまで1,000人から現在800人で将来は700人と予想されている様です。

次年度の奨学生は15名・補欠10名ですが、応募者は鹿児島大学12名、鹿児島国際大学9名、鹿屋体育大学1名、宮崎大学8名、九州保健福祉大学3名の計33名であり60%が中国人となっています。

応募に当たっては担当の教授が推薦状を本部に直接提出する必要があり、この推薦状が無ければ応募の対象者とならない。

経済的に困っている学生が対象でなく、勉学意欲があり、人物・学業面が優秀で将来日本との懸け橋となりうる人材意を対象としている。

2730地区でも一人当たりの寄付額は非増やしてほしいとのことでしたが、配布された資料によると、寄付額はクラブにより0円～24,000円とばらつきが大きいのがこれについての分析は今年度検討したい。

日本人の留学生は対象外。

質問の多くは何故中国人の奨学生が飛びぬけて多いのか、親からの仕送りが多く勉強に取り組める学生に奨学生が多いのではないかと、アルバイトをしないと学費、生活費が賅えない苦学生は奨学生になれないのではないかと、などの質問が有りました。



6月の例会案内

- 6/7 月初めのセレモニー 米山ランチ
会員卓話一宮元武次君電力供給と節電について
- 6/14 クラブ協議会一年間活動報告 血圧測定
- 6/21 クラブ協議会一年間活動報告
次年度プログラム委員会
- 6/28 三役退任挨拶 100万ドル